

# 海事輸送研究部門 平成 26 年度研究成果報告会

## 「輸送の三原則を統合した国際海上輸送システム創出の研究」を開催しました

日 時：平成 27 年 3 月 9 日（月曜日）13:00～17:30

会 場：神戸大学大学院海事科学研究科深江キャンパス総合学術交流棟 5F 会議室

神戸大学大学院海事科学研究科では、文部科学省特別教育研究推進（研究推進）に採択された「輸送の三原則を統合した国際海上輸送システム創出の研究」（平成 20～23 年度）を核として、世界的な海事科学研究の拠点形成を目指した研究を進めてきました。本プロジェクトは終了しましたが、平成 24 年度から神戸大学大学院海事科学研究科附属国際海事科学研究センター内に海事輸送研究部門が設立され、継続して研究を行っています。「海洋基本法」で謳われている「海洋の環境保護・保全」及び「我が国の経済及び生活を支える海上輸送の確保」に鑑み、「輸送の安心・安全、環境保全、経済性」を統合する新しい輸送システムの創出を目指しています。本会では 2 件の特別招待講演と共に、海事輸送研究部門メンバーの成果報告並びに国際海上輸送システムに関する意見交換を行いました。

【プログラム】 司会：塩谷茂明（第 6 部門代表者）

13:00～13:10 開会挨拶

塩谷茂明（第 6 部門長）

13:10～13:55 特別講演 1 「防汚塗装以外による船体汚損防止の研究」

金子 仁（東海大学教授）

13:55～14:40 特別講演 2 「船陸間通信による航海支援システム（e-操船支援システムの開発）」

高岡 俊輔（弓削商船高等専門学校教授）

14:40～14:55 <休憩>

14:55～15:55 成果報告 1：輸送の安心・安全

(1) 「小型船舶の夜間入出港時における海難防止用の航海支援システム構築の基礎研究」

塩谷茂明（神戸大学教授）

(2) 「三次元海図にリアルタイムの他船仮想表示システムの構築について」

柳馨竹（神戸大学大学院生）

(3) 「Weather routing based on the Kuroshio Current」

陳辰（神戸大学大学院生）

15:55～16:10 <休憩>

16:10～16:50 成果報告 2：輸送の経済性・環境保全

(1) 「航行船舶に対する遠隔操船支援システムの構築に関する基礎研究」

後藤俊樹（神戸大学卒研生）

(2) 「WRF-CMAQ に用いる Emission データの構築」

高山敦好（山口東京理科大助教）

16:50～17:00 閉会挨拶

塩谷茂明（第 6 部門長）

